

会 議 録

会 議 名	第 3 1 期小金井市公民館運営審議会第 1 8 回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成 2 5 年 7 月 2 6 日 (金) 午後 1 時半から 2 時 5 6 分		
開 催 場 所	公民館本館学習室 A ・ B		
出 席 委 員	佐々木委員長 藤井副委員長 山田委員 小島委員 亙理委員 立川委員 宮澤委員 神島委員 大津委員		
欠 席 委 員	佐野委員		
事 務 局 員	大関公民館長 山崎庶務係長 渡辺事業係長 大野主査 松本主査 長堀主査 若藤主査		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	2 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 答申書の提出について</p> <p>(2) 「第 31 期活動報告」の提出について</p> <p>(3) 都公連委員部会研修会について</p> <p>(4) 公民館事業の報告について</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 公民館事業の計画について</p> <p>(2) 科学の祭典の出展内容について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 館長挨拶</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 公民館事業の報告</p> <p>(2) 公民館事業の計画</p> <p>(3) 都公連委員部会第 1 回研修会の案内について</p> <p>(4) 都公連委員部会第 1 ・ 2 ・ 3 回会議録</p> <p>(5) 答申書</p> <p>(6) 第 1 7 回審議会会議録</p> <p>(7) 2 0 1 3 「青少年のための科学の祭典」出展一覧</p> <p>(8) 月刊こうみんかん 6、7、8 月分</p> <p>(9) 平成 2 4 年度「事業のまとめ」</p> <p>(10) 教育だより</p> <p>(11) 小金井の教育</p> <p>(12) (仮称)小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて(提言)</p>		

## 会 議 結 果

佐々木委員長 それでは、時間がまいりましたので、きょうは第31期の公運審の最終回の会議でございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは最初に、館長、よろしくお願ひいたします。

大関公民館長 皆様、こんにちは。今、委員長からお話がありましたように、今期の委員の皆様は9月8日までとなつてございますが、8月は開催がないため、本日、第31期の公民館運営審議会の最後の定例会となりますので、よろしくお願ひいたします。

欠席者ですが、残念ながら佐野委員から欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告をいたします。

それでは、配付資料の確認をお願いいたします。

まず、事前に配付させていただきました資料として、公民館事業の報告、公民館事業の計画、都公連委員部会第1回研修会のご案内、都公連委員部会第1回、2回、3回の会議録、答申書の写し、第17回公民館運営審議会の会議録でございます。また、本日配付しております資料は、2013科学の祭典の出展一覧、月刊こうみんかん6月、7月、8月号、教育だより、平成24年度「事業のまとめ」、平成24年版小金井の教育でございます。

配付資料は以上ですが、ご確認をお願いいたします。

それから、勝手なお願いで申しわけないのですが、3時から教育委員会が急遽入っております、通常ですと、この会議は1時半から3時までということなのですが、3時少し前あたりで終了させていただきたいと考えておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

以上でございます。よろしくお願ひいたします。

佐々木委員長 それでは、内容も結構盛りだくさんですので、3時ちょっと前に終われるように、効率よく話を進めていきたいと思ひます。

### 1 報告事項

#### (1) 答申書の提出について

佐々木委員長 それでは、早速ですが、報告事項の答申書の提出についてということです。公民館運営審議会委員で検討し、作成いたしました答申を提出させていただきますと思ひます。

(席をたち、委員の方達の見守る中で、委員長が館長に答申書を手渡す)

平成24年9月21日付で公民館長からいただきました諮問事項について、諮問を受けてから公民館運営審議会のほうで約10カ月にわたって検討を重ねてまいりました。その結果をまとめて、ここに答申いたします。

小金井市及び小金井市公民館が本審議会の答申の趣旨を尊重して答申を具体化し、(仮称)貫井北町地域センターがより市民等に活用されるものとなるように期待するものです。

答申いたします。よろしくお願ひいたします。(拍手)

長く続きましたので、肩の荷がおりたというか、肩の荷を公民館のほうに預けたというか、ただの答申に終わらせないで、今後の運営の際に今回の議論を反映いただくようお願いしたいと思っております。

大関公民館長 ありがとうございます。

(2) 「第31期活動報告」の提出について

佐々木委員長　それでは、「第31期活動報告」についてを議題とします。この表紙のもので、我々の第31期の公民館運営審議会の活動報告ということで、当初時間がないからどうしようかということもありましたが、形だけでもまとめておきたいということで、皆さんにも公運審を振り返ってということで文章を書いていただきました。こういう形で活動報告をとりあえずまとめてさせていただきたいと思いますが、ただ、31期でやり残したこともあろうかと思しますので、32期に向けて皆さんのほうで申し送りしたいようなこと、こういった課題があるということがあれば、皆さんのほうからご発言いただいて、それを議事録に残す形で入れたいと思っております。いかがでしょうか。

山崎庶務係長　お話の途中で失礼いたしますが、ただ今、私の方でお配りしましたのは、社会教育関連三委員会の代表の方達が合同会議での提案の後、数回の小委員会で検討されて作成された提言書の最新案です。さきほど、本日の報告事項、その他の検討事項でとりあげたいので配付するよう小島委員から言われましたので、ただ今、図書館から修正後の最新のものをデータでいただき、ご用意いたしました。

皆さんの任期中である8月中には、三者委員の連名で、教育長に提出されると聞いておりますので、「第31期活動報告」の中にも、任期中の活動項目の一つとして、これを差し込んで完成とさせていただいてよろしいかどうかを、皆さんにお諮りしたかったので、ご検討下さいますようよろしくお願いいたします。

佐々木委員長　ああ、そうですか。わかりました。

山崎さんのほうから、別刷りで（仮称）小金井市生涯学習支援センター機能の実現について（提言）【案】というのをいただいております。これはそれぞれの代表者が集まって議論してきたものでございますが、きょうはこれその他のところで話し合いをする予定でしたが、これをこの報告の中に入れてよろしいかということでございますが、その辺よろしいでしょうか。それでは、これ今検討しましょうかね。どうしましょうか。その他のところでやりますか。

神島委員　活動報告に入れるのでしたら、今で。

佐々木委員長　今やったほうがいいですよ。入れてからやるっておかしな話です。じゃ、済みません。これ、小島委員のほうからでいいですか。

小島委員　そうですね。

これは何回かにわたって藤井副委員長と私とで出席した会議なんですけれども、一応これが最終決定稿みたいな形で、多分8月だと思うんですけども、津幡教育長に提言書として出す予定でおります。それで、最終的に配られた文章の文言とこれは変わっておりませんので、きょうはこれを出していいか、それとも出さないほうがいいかだけの可決が欲しいということですので、よろしくお願いいたします。

佐々木委員長　これは三者で共同で提言したものとしていいかどうかですね。2分ほどお時間をとりますので、ちょっとお読みいただいて。

いかがでしょうか。何かご質問等ないでしょうか。読んで気がつかれた点だとか。

藤井副委員長　17回のときに若干検討はしましたね。「センター機能」と修正する等の文言だとか、そういうことね。

佐々木委員長　　そうですね。短時間でしたけれども、ちょっとやりましたね。よろしいでしょうか。特に問題になるようなこともないですし、そうあるべきだろうという内容に思われますので、これをこの審議会としてはまとまって提言するという事に同意するという事でよろしいでしょうか。  
（「異議なし」の声あり）

佐々木委員長　　あともう一つは、これを活動報告の中にまた一緒に盛り込んで報告させていただきたいと思います。

山田委員　　そのほかに次期の活動に対する申し送りというか、ご意見とか、そういったものがありましたら。ないでしょうか。山田さん、どうぞ。

山田委員　　私、これにも書いたんですけども、前期の申し送り事項というのがあったんですけども、大橋さんのときに上がって、それが全く手つかずになってしまったので、必要があるかないかも含めて、1回ぐらい審議したほうがいいかなと思っています。

藤井副委員長　　それは、そしたら、どなたかの文章のところに加えるのか、もう1項目、申し送り事項として項目を立てるのか。

山田委員　　これの申し送り事項ですから、それに入れなくてもいいと。

佐々木委員長　　足してということになりますか。

藤井副委員長　　委員長のところに加えますか、全体として。

佐々木委員長　　そうですね。それでは、私のところに加えますかね。

藤井副委員長　　どっちがいいんですかね。1ページつくるのか。

山崎庶務係長　　もしお話しただいて、結論が出れば、申し送り事項として「活動報告」に入れることも可能です。

藤井副委員長　　ああ、そうか。そういうやり方もありますね。名簿の後ろとかに。

佐々木委員長　　じゃ、山田委員のところ、11ページに。

山田委員　　真ん中辺ですね。

佐々木委員長　　3段落目、「もう一つのは」というところですね。もう一つは前期より申し送り事項ですが、3項目のうち2項目は少しずつ進んでいると。2項目というのは、地域住民への情報発信の充実と社会教育関係委員の連携の強化というのは進んでいると思う。もう一つの地域の絆を育む事業の拡大は、企画実行委員との連携が必要と思いますが、特に取り上げての特記ができませんでしたということで、この3項目ですね。地域住民への情報発信の充実、社会教育委員の連携の強化、地域の絆を育む事業の拡大、この3つが申し送り事項として出されていたのですけれども、山田さん。

山田委員　　私の感想としてはそうになりました。

佐々木委員長　　そうですね。地域住民への情報発信の充実というのは、引き続き月刊こうみんかとかホームページとか、そういったもので充実はしてきている。それから、社会教育委員とは、今、生涯学習支援センター機能の実現に向けてと議論に見られるように連携を強化されているし、科学の祭典等でも連携を進めているということで成果は見られるけれども、地域の絆を育む事業の拡大という点で、取り組みは不十分だったのではないかとあったところでしたが。

小島委員　　山田委員のおっしゃるとおりだなとつくづく読みながら思ったんですけども、これは申し送り事項に、31期のほうにこれにプラスして、大橋委員長のときも出ていたんですけども、若者層の参加が公民館は少ないんです。それで、大橋委員長のときはSNSの構築とか、何か文

佐々木委員長	<p>言が出ていたんですけれども、市民レベルで今そういうのに取り組もうという動きも出てきたりしているので、申し送り事項の中に若者層の取り込みみたいなのが入るといいかなと感じています。</p>
藤井副委員長	<p>わかりました。それから、あとほかの委員の中にもいろいろ提言等が、藤井さんはないですか、ハンドブックの。</p>
神島委員	<p>全然今の議論からずれるんですけれども、8ページの私の文章の中で、前半9行目は全部僕の文章なんですけれども、10行目からは多分どなたかの文章が混じって、私の書いた文章とは違うようですが、ご確認ください。お願いします。</p>
佐々木委員長	<p>自分の文章を見直さなきゃいけないよね。</p>
山崎庶務係長	<p>そうですね。皆さん自分の感想文の確認もお願いします。</p>
藤井副委員長	<p>申し訳ございません。本日が第31期委員の方のお顔触れの揃う最後の日でしたので、活動報告の体裁を委員の皆さんに合意を得る最後の機会と思い、あわてて、体裁だけ仮に作成して見本をお作りしたものです。お恥ずかしながら、校正をしていただく前提で作成しておりませんでしたので、細かく確認していただくには堪えないものです。ざっくりご覧いただき、確認するものとしてご活用ください。校正は、後日あらためてお願いいたします。</p>
佐々木委員長	<p>メインの話題をどうするかですね。今おっしゃった、名簿の次や感想文の後ろに特別な形で書き込むということも一案でしょうし、先生の文章はこれ以上できませんね。いっぱい書いていてね。</p>
山崎庶務係長	<p>そうですね。山田委員と私も7ページのところでほぼ同じような反省をしているので、前回から引き継いだものはまた次期にもうちょっと進めていただくということで、そのまま載せていいですか。それから、あと今、若者層の取り込みとか、そういったものが。特に今回の地域センターに若者コーナーができるということもありますので、それに関わらせてもっと若者を取り込んで、若者の活動の場とか、そういったものを保障していくという方策を今後も練っていくということでつけ加えたいと思います。じゃ、最後にまとめますかね。最後に申し送りということで、最後のほうに付けましようか。</p>
佐々木委員長	<p>申し送りとしてまとめていただければいいのでしたら、データでお送りいただけますでしょうか。</p>
山田委員	<p>それでは、私のほうでつくってお送りしたいと思いますので。あと、ほかに何かないでしょうか。ハンドブックなんかはつけ加えるんですか。</p>
藤井副委員長	<p>例えば新しいセンターができますよね。そうすると、まだ人をどうするかというのは詳細には決まってないんですけれども、今度新しく運営する人たちが来たとなると、何か勉強しなきゃいけないですよ。そういうときも参考になるし、何か新しい企画実行委員とか入った場合も、その人たちにも読んでもらえばわかるし、そういうものが必要だとは思っているんです。もちろんぽんと来たなら何もわからないので、ということをおっしゃっているんですけども、今言ったように。</p>
山田委員	<p>公運審の方もそうでしょう。</p>
佐々木委員長	<p>そうです。やりますと言うとちょっと負荷が重くなって、どうしようかと。</p>
佐々木委員長	<p>やっぱり最初に資料があれば助かりますよね。公運審とは何かとか。</p>

山田委員 やっぱ一番わからないものは、法律的にどういう立ち位置にあるのかというものが最初私もわからなかった。公民館って何なのって、わからなかったんですよね。それで、都公連の委員部会の研修で、大東文化大学の片野先生の先生の話聞いてからよくわかったんですよ。

佐々木委員長 あと、組織とか都公連のことも。

山田委員 都公連とのかかわり。都公連とはどんなものかというの、いきなり出てもわからないですよ。必要だとは思っているんですが。

佐々木委員長 例えば企画実行委員制度とかなんかも、聞いているうちにだんだんわかってくるみたいなのところもありますので、スタートの時点ではハンドブックまでいかななくても、皆さんが勉強できるような資料をまとめたものとか、それを引き継いでいくということは今後やっていかなきゃだめですね。

山田委員 それで、私だけかもしれないんですけども、三多摩テーゼでしたっけ、何だっけ、そういう言葉がよく出てくるんですけども、実際にそれはどういう中身なのかというのをネットで調べたんですけども、どうもいまちよくわからなくて、その中身そのものが出ているのがあまりなくて、解説みたいなものがちょっとあったんですけども、そういうのを知りたいなと思った。

佐々木委員長 確かに我々だけじゃなくて、職員の方もどんどん入れかわっていかれますので、そうすると確実に基礎的な資料は引き継いでいくというのは必要かもしれないですね。じゃ、その辺もハンドブックとはいかなくて、資料とか基礎的なデータとか、そういったものが。

山田委員 あったほうが望ましいみたいな感じだ。

藤井副委員長 確かに望ましいですね。

佐々木委員長 そうですね。ほかにいかがでしょうか。

それでは、今、前回から引き継いだものをまたそのまま次回にも引き継ぐということと、あと若者層のための取り組みを進めるということと、公民館運営審議会のための基礎的な資料の収集なり伝達なりをスムーズに行うということをやっていきたいと思っております。書き方は、じゃ、任せていただいて。

じゃ、よろしいでしょうか。活動報告については今の申し送り事項を載せて、次期に引き継ぐということで申し送りしたいと思います。

### (3) 都公連委員部会研修会について

佐々木委員長 それでは、次に都公連委員部会研修会についてということで、亘理委員、お願いします。

亘理委員 こちらの研修会のご案内をごらんください。8月24日の10時から12時で、時間を決めたり、日にちを決めたりで、討論の時間をかけて決まった設定ですので、ぜひ皆さんご出席をお願いします。しかし、テーマがまたまた「災害時における公民館の役割と課題」ですので、私もそれぞれの館でかなりしているんじゃないかということをお願いしたんですが、講師の先生が今もなお被災地に行かれていろいろ活動していらっしゃる方なので、このことについて述べたいということのようです。その経緯は、3回目の運営委員会記録に載っていると思います。ここで出ていただけの方を決めていただけたらありがたいです。

佐々木委員長 亘理委員、本当にお忙しい中、会議に参加していただいて、ありがと

うございます。運営委員会記録も配付していただいていますので、ご覧ください。

山崎庶務係長 お帰りのときに、研修の参加希望の方は私にお申し出いただければ、お申し込みさせていただきます。

佐々木委員長 じゃ、そういうことでよろしいですか。

山崎庶務係長 はい、お願いいたします。

佐々木委員長 じゃ、8月24日10時からです。何度も会議をした上で決めたよう  
でございますので、ご都合のつく方は山崎さんのほうにご連絡いただき  
たいと思います。

ここはよろしいですか。皆さんのほうで資料等を読んで。どうぞ、山  
田さん。

山田委員 委員部会のきょうの質問なんですけれども、全体会のことが話題にな  
って、それをやらないとか、やるとかってあるんですけど。

亘理委員 随分時間をとりましたんですけども、必ず全体会をしていたよう  
なんです。30分ぐらいでしたか。

山田委員 1回目のセッションの前ですね。

亘理委員 はい、そうですね。それは今回は午前中の開催でもあるし、もう時間  
がないので、やめたいという委員さんが多くて、やめることになりました。  
それで、3回の記録が丁寧に書いてありますから、最初に西東京市の  
会長さんの司会者からそれについてちょっとご挨拶があって、それで  
もしだめならば、またそれをこういう会議録に残しておいて、次から復  
活させてもいいんじゃないかというお返事でした。第3回目の1ページ  
の全体会についてのところに書いてあります。事業報告だの、事業計画  
はここにも書いてありますように、4月の都公連総会があって、その後  
で各地域で報告がされているんじゃないかということでした。

佐々木委員長 全体会は今年度についてはないということですね。

亘理委員 はい、そうです。

佐々木委員長 皆さんよろしいでしょうか。

#### (4) 公民館事業の報告について

佐々木委員長 それじゃ、ちょっと急がせるんですが、(4)の公民館事業の報告につい  
てに移りたいと思います。よろしくをお願いします。

渡辺事業係長 事業係の渡辺です。お配りした31期18回公運審の公民館事業の報  
告について、何かご意見等がございましたらよろしくお願ひいたしま  
す。

佐々木委員長 何かご質問等ないでしょうか。東分館の成人学校の女のD I Y講座と  
いうのは、随分参加者が多かったんですね。こういうものについてはか  
なり希望者が多いんですかね。延べ参加者75人。かなりニーズもある  
んだと思いますし、こういったものをつくってやっていけば、逆に女性  
という視点からもいいのかなと思っていますけど。

小島委員 いいですか、簡単に。東分館のセンターまつり、延べ参加者数が1,  
250人という大変な人数を集められて、私の記憶ですと、前回、要す  
るに去年延べが900名だったんです。この増えた理由というのは、例  
えばエバリーのコンサートが入ったとか、何か特別な理由があったのか、  
それとも自然発生的に人気が出たとかというのでしょうか。おもしろい  
質問で申しわけないんですけど。

長堀主査 東分館の長堀です。センターまつりにつきましては、ほとんど例年と同じ企画内容でして、唯一はっきり違うところは公民館主催イベントの部分です。これは毎年違う内容です。去年はスポーツ祭東京2013のプレイベント「ゆりーとダンスを踊ろう」という企画でしたが、私どもの力不足もありまして、参加者が非常に少なく、やっと10人そこそこでした。

それに対して今年は、「エバリー コンサート」という企画でした。これが大変な人気でして、並べた椅子60席が全て満席の上、さらに立ち見の方で後ろの方もほとんどいっぱいの状態でした。全部で120人以上はいたと思います。ここの部分だけで、昨年と100人以上の差です。

もう一つは、キッズダンスの出演者の増加です。参加団体は昨年と同じですが、今年は去年の倍の子どもが出演したそうで、観客の親がまた倍ということで、キッズダンスの観客席は超満員でした。キッズダンスが去年のほぼ倍ぐらいということで、ざっとプラス100人ですから、先ほどの公民館イベントの増加分と合わせると、200人から300人近くは昨年より多くなった計算です。

小島委員 ありがとうございます。

大津委員 済みません。途中で申し訳ないのですけれども、職場でトラブルが起きた連絡が今入りまして、今日はオフだったのですけれども、職場に行かざるを得なくなりました。審議会の最中なのに申しわけないです。この後、科学の祭典の準備等の日程についてはご連絡いただければ、お手伝いできるかと思っておりますので、よろしくをお願いします。

佐々木委員長 はい、わかりました。

大津委員 申し訳ありません。

宮澤委員 1つよろしいでしょうか。センターまつりのパンフレットで、私、すごく共感を覚えて、今日持ってこなかったんですけれども、パンフレットの後ろにサークルの活動日や活動内容が入っているんです。ほかの館ではなかったものですので、それは大変よろしいかなと思って、他の館も参考にしてほしいと思いました。

長堀主査 最初は参加団体の一覧表だけだったんですが、実行委員会で、「せっかく載せるのなら各団体の活動内容を載せてほしい」と要望が出され、まず、活動内容を載せました。そうしましたら、次にまた要望がありまして、「何曜日の何時から活動しているか知りたい」ということになりました。たまたま自分たちと同じ曜日であれば、ちょっと覗くとか、そういう交流もできるので、それを載せてほしいということです。その2段階にわたる改正で、最初は団体名だけだった一覧表が活動内容と活動日時を掲載することになった次第です。実行委員会で出された要望を受けて、少しずつ内容が豊かになっていったという経過です。

宮澤委員 パンフレットを持って帰ったときに、そこに参加しなくても、また生きたパンフレットになりますよね。それが最高によかったと思っておりますので、よその館もちょっと参考にしてみたらいかがかと思ひまして発言させていただきました。

以上です。

佐々木委員長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。山田委員、どうぞ。

山田委員 感想だけですけれども、先ほど委員さんのほうからDIYは成功です

ねと、人気があるような感想を言われたんですけども、このDIY講座というのは募集が20人で、受講が20人なので、よくわからないんだけど、その反対側のページを見ると、募集が20人に対して応募が51人なんです。だから、2.5倍ほどでありまして、これはすごく人気があると感じました。だから、DIYは応募のほうはわからないので、母数だけは集まったということだと思っんですけども、むかしみちのほうはすごい人気だなというふうに感じました。

長堀主査

東分館です。女のDIY講座の応募者は35人ですか。15人はお断りをしたと。お断りした理由は、昨年が続いて2年目なんですけれども、1年目のときに募集20人で、1年目のときは倍以上、40人以上が来られて、25人だったかな、プラス5人ぐらい多く昨年は受け入れたんですが、実技講座なものですから、プラス5人は大変だったということで講師からも率直な感想がありまして、今年も20人の募集に対しては20人で、あとは断ってほしいということで、今年も20人にしたいということです。

佐々木委員長

かなり希望者というか、住民のニーズは高いんですね。

山田委員

今回報告されているのはみんな募集よりも応募のほうを上回っているんで、結構いいものがそろったなど。

佐々木委員長

よろしいでしょうか。事業のほうもいろいろ工夫されたり、住民のニーズを取り込んだりして、かなり応募者が多いですので、今後もこの調子で頑張っていただければなと思っております。

その他ですが、特にないですか。よろしいでしょうか。

## 2 審議事項

### (1) 公民館事業の計画について

佐々木委員長

それじゃ、審議事項のほうに移らせていただきたいと思います。公民館事業の計画についてお願いいたします。

渡辺事業係長

お配りした資料のうちの公民館事業の計画をご覧ください。市民がつくる自主講座が裏面になっておりますので、ご覧ください。

こちらはもし応募が多数にわたって、どなたかの団体でご遠慮いただく場合にはお時間をとっていただいて、こちらで審議していただくというお話をさせていただいたんですけども、ご覧のように10団体で、全部が受講していただける形になりました。ただ、ちょっと回数を少なくしていただいた団体があったことはあったんですが、了解していただきましたので、全部の団体にやっていた形になりました。よろしくお願いたします。

佐々木委員長

ありがとうございます。

いかがでしょうか。ご質問等何かありましたら、よろしくお願いたします。

小島委員

事務的な質問で申しわけないんですけども、予算額、確定額とあって、講師料のところなんですけれども、これは8コマなのか、8時間ですか。

渡辺事業係長

8時間ですね。

小島委員

時間で計算してあって、要するに1時間が8,000円ということでしょうか。

渡辺事業係長 山田委員 はい。  
ただの凡ミスですけれども、自主講座の一覧で平成24年度というのは平成25年度に。

渡辺事業係長 申しわけございません。  
佐々木委員長 上のタイトルのところですね。  
渡辺事業係長 25年度。  
立川委員 これは申請者、各団体さんが企画して、講師なんかも各団体が見つけてくるということなんですか。

渡辺事業係長 立川委員 そうです。  
それに公民館として予算をつけてやる、講師の人。募集もその団体が勝手にやるということですか。公民館がやってあげるんですか。

渡辺事業係長 各団体がやりまして、たとえば、援助ということで市報に載せたり、その他ポスターの掲示の手配をしたりとか、場所ですね。そういった援助をしていく。

立川委員 わかりました。  
佐々木委員長 予算額と確定額がずれているところもあるんですが、この基準とかというのはあるんですか。

渡辺事業係長 基準があるのは、昨年やりました団体はご遠慮いただいて、ダブって申請というのがありまして、あとはご相談で、ご協力いただけたところはちょっと調整させていただいたということでございます。どうしても3回ないと講座にならない場合は配慮するんですけれども、できれば大体皆さんでやると3回くらいが限度なので、あまり長いものについては最初からちょっと無理かもしれないよというお話をさせていただいているんですけど。

佐々木委員長 よろしいですか。ほかに。山田委員、どうぞ。

山田委員 単純な質問なんですけれども、貫井南分館の富士山五合目というのはその他（場所等）に記入がないんですけれども、これは富士山五合目に行って観測するんですね。

松本主査 公民館貫井南分館の松本です。既に7月23日は過ぎているので終わったんですが、実際、富士山五合目まで行って植物観察をしてみました。

佐々木委員長 実際行ってきたんですね。私も行きたかったな。  
いかがでしょうか。それじゃ、この計画についてはよろしいでしょうか。じゃ、このとおりに進めていただきたいと思います。

### (3) 科学の祭典の出展内容について

佐々木委員長 それでは、科学の祭典ですが、きょうは多分、直前の打ち合わせの機会としては最後だと思いますので、よろしくお願いします。

山田委員 出展一覧というのを配付してもらっていますが、このページの順番ですけれども、真ん中に挟んであるのが一番後ろに来ます。  
まず、場所なんですけれども、去年と同じ部屋の前でやります。また、糸電話をやるので、距離がとれるほうがいと書きましたら、外になりました。その一覧は最後の枚数のところの一番左側に番号がありますけれども、16、17、18が小金井市教育委員会関係なんですけれども、16が社会教育委員、17が図書館協議会、18が昔遊びの科学で公民館運営審議会が行うことになります。一番前のページの裏側を見ると、

S棟の一番下、1階の18棟のところを見ていただければロビー側に18と書かれています。ですから、部屋の外なので暑いし、蚊がいると思うんですけども、蚊取り線香がだめなんですよね。ということで、場所はこういうふうになりました。

それから、出展内容は、一部の皆さんにはこれを提出前にメールのある方にはお送りしました。

内容的には裏面をごらんいただきたいと思うんですけども、昭和30年代に遊んだ懐かしい遊びの原理などを学ぶということで、工作は糸電話です。去年と同じです。

それからストロー笛、これも去年と同じです。浮かぶボールというのは宮澤委員が提案されたので、うちには曲がるストローがなかったものですから、こういう感じになって、発泡スチロールの丸い球があればいいと思って梱包材料も探したんですけども、梱包材料として変な形のはあったんですが、丸いのが見つからなかったのです。これは科学でいうと、ベルヌーイの定理というのが使われていて、気流が上るときに気流は速いので圧力が低くなって、同じ圧力でも上げられますので、外へはみ出ないという原理です。

あと、時間がないのでやりませんが、ヘアドライヤーでピンポン玉に風を送るとこれも浮きます。これは個人がつくるというわけではなくて、これは宮澤委員から提案があったんです。

佐々木委員長  
山田委員

浮かぶボールですね。

ええ。だから、これをどうするかもうちちょっと探してみます。なければこれでやる。これはアルミホイルを巻いて、これより重いとうまくいかないの。

佐々木委員長  
山田委員  
宮澤委員

ちょっとそれは微妙ですね。

だから、発泡スチロールではこの程度のものであればできる。

すみません。私、自分で言って、これは中止だと思って、用意しなかったのですが、小さい発泡スチロールがあるんですよ。

山田委員  
宮澤委員

もしありましたら連絡いただければ。

また私、ちょっと探してみます。やらないと思って、ここにも書いてなかったの。

山田委員

それから、展示として公民館の催し物の紹介ということで、去年も5枚用意しました。これ、こっちから回してご覧ください。ただ、ちょっと感じなんですけれども、統一テーマを張るのがロッカーの上になるのですけれども、統一テーマが下のほうになって、ちょっと下過ぎるかなと思ったんですが。

佐々木委員長  
山田委員  
小島委員

張る場所ですか。

その場所なので、私もちょっと苦しいですけど。

社会教育委員の会議の伊藤委員によると、何しろ各団体1つのタイトルしかつけないで、3団体が一緒のタイトルというのは私たちの3団体だけなんだそうで、あのタイトル自体がほとんど意味をなさいということを伊藤委員から聞いたんですけど。

佐々木委員長  
小島委員  
山田委員

3団体の一緒のタイトルがですか。

「いつでも学習、どこでも科学」ですか、あれがあんまり。

何ならもう少し小さくして、もうちょっと上のほうに持っていったらええ。

小島委員 せっかくつくったから、どこかに張っておきたいと思うんですけど。

山田委員 それから、この前、私が提案して、水車で発電したらどうかというふうに言ったんですけども、これは一応科学の本には出ているんですけども、実際やってみると、結構LEDがつかないんです。電圧に直すと1ボルト以下しか出てこないの。実際にこういうものを出すんですけども、これはちょっと今いろいろなご意見があるかもしれないんですけども。LEDをつけるんです。このくらいで回したんじゃつかないですから、結構な速さで回さない。これは多分、磁石が強力になったもので、この裏のほうに出ているのにはソーラーモーターを使うとつくって書いてあるので、ソーラーモーター自体どこで売っているのかよくわからないので、私、東急ハンズなんかに行ったときに見てみますけれども、もし手に入らなかつたらこれでやって、これは中にちょっと仕掛けをして、回ればつくようにする。それで、あともし実際に電圧を表示したければ、メーターを持っていきますので、つなげば、回転が速くなれば電圧が上がるの見られると思います。

小島委員 これがあつたほうが全然いいですよ。水とか動くとか。

山田委員 それで、テーマは昔遊びということなので、発電というのは昔遊びのときも結びつかなかつたので、一応水車を入れたんです。これは私が子供のころにやった水車遊びです。こういうものを小川のところに立てまして水車遊びというのをやったんですが、小学校の低学年対象ですかね。

神島委員 クラフトですね。

山田委員 こういう感じで、水をかけると、これだったらヤカンでかけても。だから、これもやって、これも時々やるという感じで、これが昔遊びですね。これ、実際には昔はよくかまぼこ板でつくりました。昔のかまぼこ板は今のかまぼこ板よりもちょっと幅が大きかつたんです。こんなのをつくって遊んでみたいと思います。

佐々木委員長 そうすると、準備するものというのは。

山田委員 循環させて水をかけないといけないので、たらいか水槽をつくります。つくるというか、木の箱をつくって、その上にビニールシートをのせます。それで、水流をつくるために、よくお風呂の残り湯をくみ上げる水中ポンプを回しますので、あれで水をかけます。

佐々木委員長 本格的ですね。

山田委員 動く子どもが寄ってくる。

小島委員 そう。動く寄ってきますよね。今年も楽しそうですね。

山田委員 こういうことで。1つだけちょっと、この前、意気込んで言ったんですけども、これは普通に回したんじゃつかないということで、何か工夫はさせていただければ。

佐々木委員長 増幅器かなんかをつけるとつきませんか。

山田委員 トランジスターを1個入れればつきます。

そういうことで報告書には、糸電話としては音が伝わる仕組み、音は振動であるということや、ストロー笛は音程が変わるということが学べます。それから、さっきの浮かぶボールというのは気流と気圧の関係ですね。水車遊びのほうは、水の持つ位置エネルギーを回転に変えて発電することを学ぶということで、あとは去年と同じです。

それと、統一テーマの張り紙は、今年も作成していただく。

佐々木委員長 去年の掲示物はありますか。

小島委員	多分それはとってあると思います。
山田委員	その確認をどこかで。
佐々木委員長	去年はどこに掲示したんですたっけ。「いつでも学習」というのは。
小島委員	この写真に写っていますね。(大津委員が持参しているものを提供)
佐々木委員長	一番上でしたっけ。
山田委員	ロッカーの上の上。
佐々木委員長	ロッカーのこのところですね。
山田委員	人が立っちゃうと見えなくなる。
佐々木委員長	結構立派な字じゃないですか、「いつでも学習、どこでも科学」というのは。場所がなかったんですね。
山田委員	ただ、もうちょっと上には上げられますので。
佐々木委員長	そうですね。去年よりちょっと上めのほうがいいかもしれないですね。去年、昔遊びの科学というポスターの写真、これも。
山田委員	それは向こうが支給されるっていうか、主催者のほうから配られています。
佐々木委員長	ああ、そうですか。じゃ、これはいいですね。あと、このポスターを二、三枚やっていただく。済みません。じゃ、このポスターをお願いします。
藤井副委員長	ポスターの写真なんですけれども、皆さんのところで今年用のもし新しいのがあれば、使いたいと思います。なければ、去年のやつをもう一遍またカラーコピーやりますけれども、どうしましょう、また集めていただけますか。
渡辺事業係長	テーマ性を持たせてはいかがでしょうか。
藤井副委員長	去年のは、子どもが参加している緑分館の野菜づくりの写真だとか、将棋だとか、囲碁だとか、ああいう子どもさんの写真があれば。それともう1件、子どもの人権に関する講座は今年テーマが変わるわけですよ。あれもなるべく大きな文字にしたほうが見やすいんで、去年みたいに小さくやらないで、大きいテーマだけ書くとか、何か見やすい工夫をしたほうが僕はいいんじゃないかとは思ってます。だから、8月20日ごろまでにお手元に集めてもらえれば僕が取りにいけますので。
渡辺事業係長	はい。じゃ、それまでに。
藤井副委員長	はい、お願いします。
佐々木委員長	あとは、山田委員のほうで何か皆さんに準備してほしいものとかってありますか。去年は、たらいが必要でしたが。
山田委員	水槽でやります。
佐々木委員長	水槽でやるということですね。
山田委員	大丈夫です。
佐々木委員長	大丈夫ですか。
山田委員	だから、もしあれば。
佐々木委員長	この丸いやつですね。
山田委員	なかったらこれでやります。
佐々木委員長	なかったら、先日それをみんなで購入してきて、つくるというところですかね。つくるというのも楽しくないですか。
小島委員	去年の紙コップは、たしか神島さんにお世話になったんですよね。今年は新たに買わないといけない。
佐々木委員長	そうね。紙コップ、じゃ、買わなきゃだめだと思うんですね。

山田委員 去年、紙コップは神島さんから150個、佐々木先生から20個、ストロー笛のストローも宮澤さんから150本いただいたんですけれども、そのくらいで一応足りたので、人数は150から200人ぐらいだと思っていただければいいと思います。私、今言ったこれの原理的な説明書をつくったんですけれども、それはあんまりもらっていただけなくて結構余ったので、それは150ぐらいにしていればいかなと思っています。

佐々木委員長 そうすると、あと、じゃ。

山田委員 あと、まだ連絡は来てないですけれども、多分9月の前日が搬入日なんですよ。そのときに説明会とか、ミニシンポジウムというのがあると思われるので、どなたか出ていただきたい。

小島委員 前日って土曜日ですよ。

佐々木委員長 午後でしたか、去年は。

山田委員 12時から16時の間。だから、実際に連絡が来たら、また連絡します。

佐々木委員長 じゃ、宮澤さん、私も一応大学に行くと思いますので。

神島委員 済みません。当日、三宅島のほうから、教育委員会関係も通しながら、剣道の親善試合に生徒が見えるんですよ。私、三宅島友好協会の事務局もなんですが、会長を仰せつかって、そちらのほうで式典ということで、開会式とか、生徒の試合を見たり、小金井からも出ますので、そういうことでちょっとお手伝いは無理かなと思うんです。前日のお手伝いとかはいたしますし、それにコップの提供とか糸とか、いろいろ必要なものがあれば、そういうのは出せます。

山田委員 糸は去年のが大分余っています。

神島委員 まだ大丈夫ですか。紙コップとかは糸電話のほうに使うんですか。

山田委員 そうです。

神島委員 それだと大勢生徒が見えると、たくさん要るんですよ。

佐々木委員長 買いますか、それ。だって、各家庭に何百個も。去年はたまたまありましたけど。

山田委員 半日だから、200ぐらいがいいと思って。

神島委員 200ぐらい使うんでしょ。だったら、ちっとばかり用意したって無理だし、それに必要な諸経費は出るわけでしょ。だから、諸経費から買ったほうが、かえって面倒がなくてよろしいかと思う。大したお金のものじゃないから。提供するのには大事ですけども、そんなのやっぱりおかしいですから。

それからあともう一つ、科学の祭典もソロプチミストのほうで事務局をやったりしているんですが、すごい煩雑で大変で、学芸大の先生方も協力してくださっているようですけれども、気にしないでできるだけやるようにやったらいいわよって事務局にも元気づけたりしているんですが、どんな程度これから先やっていけるのか、いろいろ思案のときかなというふうにも考えていますので。

私もせっかくですから、協力できる部分を一生懸命やりながら、公民館活動と科学の祭典との何を、どうしてこれをやるのかというところは、それによって公民館が開かれていくか、そういうのってみんなが参加するから参加すればいいやっということかどうかの整理もしながら、これから考えていく必要があるかなと思っています。これは私の思いですので、決してこうせいとか、ああせいじゃなくて、考えながら知恵を絞っ

てみんなで作るときかなって思っています。

佐々木委員長　　そうですね。これは前の大橋先生のとときに三者連携でということが始まったものですので、ここまで来ましたが、今後どうするかは、三者で連携して地域のためにいろいろな意味で貢献するという事で、公民館のことをわかってもらうということでは一定の効果はあったと思いますが、じゃ、そもそもとか、いろいろなことも考えながらやっていかなきゃならないものだと思いますので。今年についてはまた。

神島委員　　ソロプチミストがやっていて言いにくいので、あくまでも私個人の考えですから、皆さんの様子を見ながら思うに、ちょっとそうかなという気がしたの。

佐々木委員長　　ただ、三者で始めたものですので、我々だけ抜けましようということでもいきにくい状況があるんじゃないかと思しますので、三者の会議のときにも、そういった話題を出しながらやっていかなきゃならないんだろうと思いますね。

神島委員　　今度、社会教育委員のほうもかわりましようから、どういうふうになるかね。流れに沿っていくのがいいかと思ひます。

山田委員　　それで、当日のお弁当を申し込まないといけないんですけれども、そうすると8名でいいですか。神島さん。

佐々木委員長　　お弁当は多めに申し込んでおいたほうが。もらえるんですね、あれ。

神島委員　　そうそう、お弁当は用意しますって言っていますから。

立川委員　　商工会で渡しているものですね。僕は配るほうですから、僕は当日に商工会の職員分に入ってますね

山田委員　　8あればよろしいですね。

宮澤委員　　私ものぞけたらのぞきます。お手伝いもできる限りやりますので。

山田委員　　じゃ、お弁当は一応8人の申し込み。それから、終わった後に反省会があるんですけれども、何人出るかですが。去年、私、忘れていて、当日朝思い出して慌てて行ったんですけれども、だれか出ますか。反省会は大したことはない。時間は5時半から6時までだから、そんなに長い時間かかりません。

佐々木委員　　何十分ですか。

山田委員　　30分。

佐々木委員長　　じゃ、私が出ますか。

山田委員　　多分ペットボトルの水ぐらいは出ると思ひます。

佐々木委員長　　わかりました。終わった後に、じゃ。

山田委員　　その後に飲み食いの懇親会があるんですけれども、6時10分から8時まで、これは出る人いますか。去年はだれも出なかった。

神島委員　　だれも出なかったのですか。

山田委員　　はい。会費が3,000円です。

神島委員　　やりたいって。人間というのは何かやっても、やっぱり楽しみって大事なんですよ。楽しむことをしないと不平不満も多くなるので、やっぱり楽しむために参加したほうがいいですよ、努力した方は。藤井さんとか、山田さんとか、先生とかは出られたほうがいい。楽しいから出られたほうがいい。

佐々木委員長　　出られたほうがいい。

神島委員　　懇親会に。

佐々木委員長　　去年出なかったんですね。

亘理委員 最後の日ですから、この31期公運審委員メンバーの懇親会でしたら。  
 小島委員 公運審の懇親会だったら、やると思いますが。  
 神島委員 3人ぐらいいはいらしていいと思いますよ。そのために用意するわけ  
 ですから、お金をかけて。だれも来なかったら、懇親会場も困るわけです  
 から。  
 佐々木委員長 でも、それぞれ都合もありますので。  
 神島委員 わざわざ学芸大のそこへ出向くというのが大変ですよ。  
 佐々木委員長 あと、ちょっと時間が、きょう早めに終わらなきゃならないとい  
 うこと  
 山田委員 前で、あと山田さん、決めておかなければならないことがありましたら。  
 前もって1回集まるという話だったので、それだけ日程を決めていた  
 だければよろしいかと。前日だと間に合わないの。  
 佐々木委員長 9月4日だと午後は大丈夫ですね。  
 小島委員 午後3時ぐらいたとありがたいですね。  
 佐々木委員長 午後3時ぐらいいでもいいですよ。  
 藤井副委員長 じゃ、そうしましょうか。  
 佐々木委員長 9月4日（水曜日）の15時。私の研究室で、学芸大学の玄関を入  
 って、正面を見て9階建ての一番高い古い建物なんですけれども、その5  
 階ですね。わからない方は入口で守衛さんに聞いていただければわかり  
 ます。  
 小島委員 サンシャインって言えばいいですね。  
 佐々木委員長 通称サンシャインっていう汚いビルなんです。その5階のエレベータ  
 ーをおりると、すぐのところに私の研究室がありますので。  
 はい。そこで時間を打ち合わせるといこと、去年は当日の集合が  
 8時半頃でしたか。  
 藤井副委員長 開会式が9時半だから、準備はそんなもんですね。9時頃ですか。  
 佐々木委員長 9時頃。  
 藤井副委員長 前日の準備できるんですか。  
 山田委員 前日も少しはできると思います。  
 藤井副委員長 ポスターを張ったりとか、そういうのはできるんですね。  
 山田委員 はい。  
 佐々木委員長 じゃ、ちょっと時間も迫ってきたので、4日の3時、大学のほうで会  
 議といこと、よろしくお願ひしたいと思ひます。よろしいでしょう  
 か。何かあったら、また4日といこと、お願ひします。あと、それま  
 での必要なことについては、山田さんのほうに一任するといこと、お  
 願ひしたいと思ひますが、よろしいですね。  
 それじゃ、議事のほうは以上ですが、よろしいでしょうか。  
 それでは、31期の公運審はこれでお手打ちをさせていただきます。  
 ありがとうございます。

### 3 その他

#### (1) 館長挨拶

大関公民館長 最後一言、私のほうからお礼を申し上げます。  
 今期は諮問という大変重たい案件をお願ひしまして、またタイトなス  
 ケジュールの中でご協議をいただき、本日、答申をいただきましたこと、  
 まことにありがとうございました。この答申を受けて、今後の公民館運  
 営に役立てていきたいと思ひますので、今後ともご協力をくださ

いますよう、よろしく願いいたします。

そして、今期いっぱい委員をおりる方、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。幸い、この会は3期満了という方が1人もいないのです。来期もお引き受けいただける方が大半の方なのかなと思っておりますので、引き続きよろしく願いしたいと思います。約2年間、どうもありがとうございました。